

青木 大也
法学研究科・准教授

【研究】

今年度は、代表者を務める科研費基盤 C:1 件、分担者を務める基盤 A:1 件、基盤 B:2 件(新規 1 件、継続 1 件)に関するものを中心に研究を進めた。

掲記できる成果として、ストラスブール大学 CEPI、大阪工業大学との共同シンポジウム”IP Spring Conference 2025”(2025 年 4 月 11・12 日)の開催及び登壇が挙げられる。また年度を通じて、分担執筆の書籍 2 点、単著論文 4 点、共著論文 1 点、評釈 2 点を公表し、8 件の口頭発表・講演を行った(上記のほか、日本画像学会での招待講演、メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所主催の研究会での講演を含む)。加えて、有斐閣 ONLINE での連載／ファッション・ローと知的財産にも継続的に参加している。

【教育】

今年度は、全学共通教育科目 1 コマ、法学部の講義科目 1 コマを担当し、また法学部演習 1・2 を法学研究科の岡本准教授との共同で担当した。加えて、大学院法学研究科の科目を 1 コマ、高等司法研究科の科目を 1 コマ担当した。

また、大学院生について、M2 を 4 名、M1 を 3 名担当し、研究生 1 名を受け入れた。

【管理運営】

部局内にて、法学部教務委員会、広報室、施設マネジメント室に参画した。

また知的基盤総合センター、ELSI センターの教員を各々兼任した。知的基盤総合センターでは、研究企画、FD や智適塾関係を担当した。

【社会貢献】

特許庁政策推進懇談会メンバー、産業構造審議会知的財産分科会弁理士制度小委員会、意匠制度小委員会、同意匠審査基準 WG の各委員、工業所有権審議会弁理士審査分科会試験委員を務めた。

また、特許庁の委託する「令和 7 年度知的財産保護包括協力推進事業」(日中共同研究)の研究者メンバーを務めた。